

経営比較分析表（令和2年度決算）

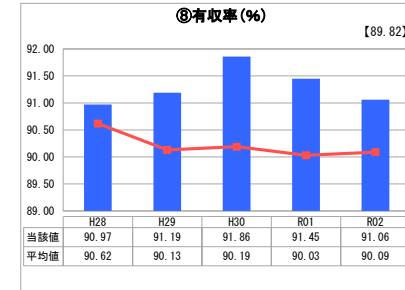
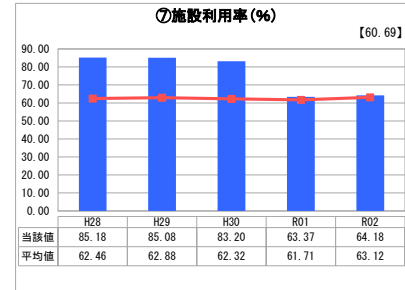
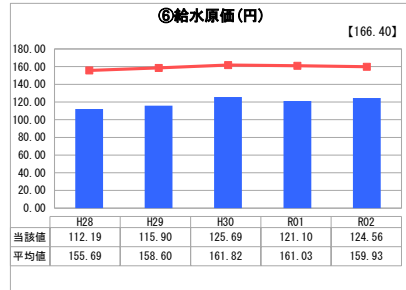
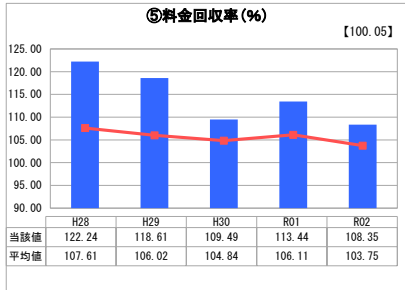
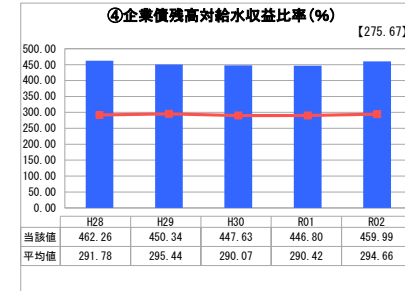
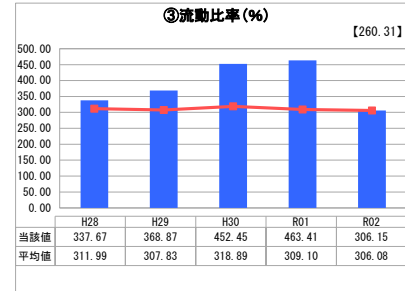
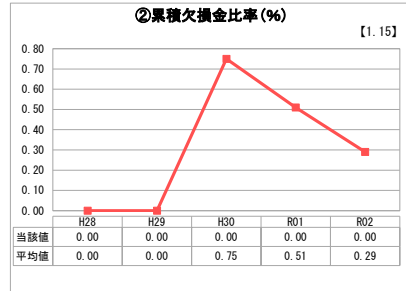
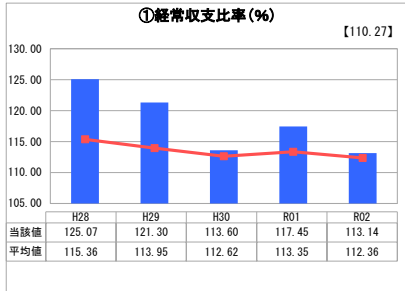
鳥取県 米子市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	61.29	99.26	2,235	

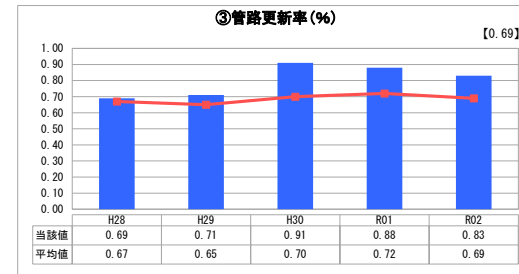
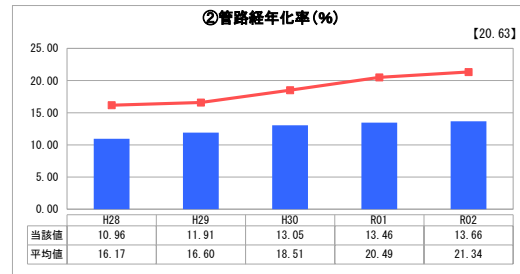
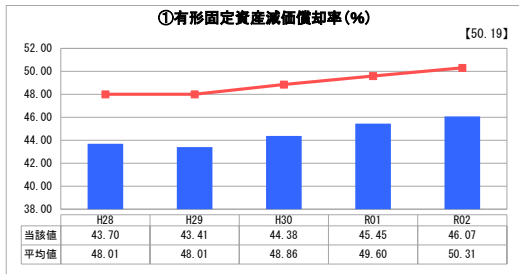
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
147,536	132.42	1,114.15
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
182,320	165.73	1,100.10

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

おおむね効率的で健全な経営を維持している。
 ①経常収支率
 100%を超え、単年度収支は黒字を維持している。大規模施設撤去工事費用の減により、前年度より上昇した。
 ③流動比率
 建設改良費の増加により、前年度比は減少したが、300%を超えて推移しており、現状、短期的債務に対する支払い能力は確保できている。
 ④企業債残高対給水収益比率
 類似団体より高い水準にあり、横ばいの傾向にある。収益が減少する中、今後は計画的に借入残高を抑制していかなければならない。
 ⑤料金回収率
 100%を超える水準で推移しており、給水原価は給水収益で賄える状態が継続できている。
 ⑥給水原価
 施設撤去工事費及び更新投資の増加に伴う減価償却費の増加などにより上昇傾向にあるが、平均より大きく低い水準である。
 ⑦施設利用率
 平均値と同水準である。
 ⑧有収率
 凍結災害により、前年度より減少した。

2. 老朽化の状況について

管路、施設ともに老朽化の傾向にある。中長期的な視野に立ち、財政状況を踏まえた適正な計画のもと更新を実施していく必要がある。
 ①有形固定資産減価償却率
 類似団体と同様に、保有している施設の老朽化が進んでいる。
 ②管路経年化率
 拡張時期に布設した管路が法定耐用年数をむかえるため、上昇傾向は続く見込みである。
 ③管路更新率
 毎年、継続して更新を行っているため、0.7%から0.9%を推移していく見込みである。

全体総括

全体として、類似団体と比較すると、同程度あるいは、良好に保たれている。
 全国傾向と同様、本市でも施設更新時期を迎えるものが多い反面、給水収益は減少している。事務的経費のさらなる効率化をし、投資的経費は、水道事業経営戦略を検証、見直しして推進を図っていく。